

福岡座禅道場俳句会十一月句会結果

天天天天天

- みどりごのいよいよおねむ毛糸帽 (真光) 三点
- 吊し柿吊し終えたる背中かな (霊峰) 三点
- 古里の夜凍てつきて満天星 (白堂) 三点
- 新しき仕事を得たり日記買ふ (浄淵) 三点
- 赤づきんかむりし地蔵面やさし (宗道) 三点
- 地 天平の鐘青さびて冬紅葉 (宗道) 二点
- 地 師が詠みし五十七歩と辿り行き (白堂) 二点
- 地 見つむるや上手からぬ子の寒稽古 (真光) 二点
- 地 隠寮の窓焼き尽くす夕紅葉 (白堂) 二点
- 地 赤黄色緑織りなす銀杏かな (大塚) 二点
- 地 七五三スマホで届く晴れ姿 (宗道) 二点
- 地 眠さうな猫を尻目に冬支度 (霊峰) 二点

※ 2625242322212019181716151413121110 9 8 7 6 5 4 3 2 1

- みどりごのいよいよおねむ毛糸帽 (真光) 3
- 公園に人まばらなり冬さうび (霊峰) 2
- 天平の鐘青さびて冬紅葉 (宗道) 2
- 古寺の老僧忙し冬構 (浄淵)
- 師が詠みし五十七歩を辿り行き (白堂) 2
- 吊し柿吊し終えたる背中かな (霊峰) 3
- 見つむるや上手からぬ子の寒稽古 (真光) 2
- 石畳木漏れ日の中銀杏舞う (大塚)
- 青空に香りたなびく菊花展 (無傳)
- 古里の夜凍てつきて満天星 (白堂) 3
- 古里は冬構する主無し (浄淵)
- 小春日やゆらりゆらるる木の葉かげ (真光)
- 大甕の陰より覗く石露の花 (浄淵) 1
- 苔寺の床ひんやりと冬紅葉 (宗道) 1
- レジを打つ留学の子や冬隣 (霊峰)
- 隠寮の窓焼き尽くす夕紅葉 (白堂) 2
- 赤黄色緑織りなす銀杏かな (大塚) 2
- 新しき仕事を得たり日記買ふ (浄淵) 3
- 小春日に男一人の計報聞く (白堂) 1
- 石庭は小さき宇宙ふゆ紅葉 (宗道) 1
- 連山もこれはとばかり粧うか (無傳) 1
- 七五三スマホで届く晴れ姿 (宗道) 2
- 廃窯の窯の窓なる石露の花 (浄淵)
- 眠さうな猫を尻目に冬支度 (霊峰) 2
- 赤づきんかむりし地蔵面やさし (宗道) 3
- 皿多き夕餉嬉しや秋の宵 (霊峰) 1

※ 次回投句締切日は、十二月十四日(日)です